

吉岡ロゴテック



特殊印刷の吉岡ロゴテック（福井市）は福井の伝統産業である眼鏡と漆器技術を使った塗り箸を開発した。写真。断面をかまぼこ形にした箸に、樹脂製眼鏡の芯の技術を活用し鉄製の芯を埋め込んだ。適度な重さ

吉岡ロゴテック

「七転び八起き」は眼鏡部品加工メーカーや漆器製造会社と共同で開発した。越前漆器の伝統工芸士が漆塗りを担当した。天面に福井市のシンボルである

七転び八起き 高級塗り箸

で持ちやすくしたほか、「起き上がりこぼし」の原理で、箸が転がっても絵が描かれた部分が常に上を向くようにした。縁起物として百貨店などで販売する。

絵柄常に上、眼鏡の技術応用

不死鳥の絵を施したものと、だるまを描いたものの2種類を用意した。価格は2膳1組で1万4700円。

箸は2013年度の「全国推奨観光土産品審査会」で日本商工会議所会頭賞を受賞。来年2月に東京ビッグサイト（東京・江東）で開かれる見本市に出展し、百貨店などで本格販売を始める。年500組の販売を目指す。廉価版も用意する予定だ。